

ZEB 化事業への取り組みについて

このたび、ZEB 化事業として当社本社の新社屋を建設しました。(2023 年 5 月完成)

快適な室内環境を確保したうえで構造や設備の省エネルギー化を図るほか、再生可能エネルギーを利用することにより、消費エネルギー量と創エネルギー量の差がゼロ、あるいはゼロに近い数値となる建築物を指す ZEB 化事業について、当社の取り組みをお知らせします。

【ZEB 化事業への取り組み】

本社の新社屋は、空調、照明、給湯設備などにおいて高性能機器を導入するアクティブ技術、さらに外皮断熱や自然通風、自然採光を多く取り入れるパッシブ技術を組み合わせることにより、50%以上の省エネを達成する“ZEB Ready”で計画しました。

同社屋は 2022 年度ネット・ゼロ・エネルギー・ビル (ZEB) 実証事業の採択を受け、2023 年 5 月に竣工し、翌 6 月に供用開始しています。

日本政府は 2020 年に新築公共建築物等で、2030 年までに新築建築物の平均で ZEB を実現することを目指す目標を掲げており、これからの建築物は省エネ性能が求められ、建物の ZEB 化が進んでいくものと予測されます。

地元のリーディング企業である当社も、環境に配慮しながらさまざまな建物をお客様に提供することを目指し、今後も積極的な ZEB の推進に努めてまいります。

【美保テクノス株式会社 本社 新社屋 概要】

令和 4 年度 環境省 ZEB 実証事業

② ZEBリーディング・オーナー登録予定建築物

オーナー名	登録年度
美保テクノス株式会社	2022
建築物の名称	美保テクノス株式会社本社屋



建築物のコンセプト
本件はパッシブ技術やアクティブ技術を用いてZEB化を図るとともに、太陽光発電設備や蓄電池を導入することでレジリエンス強化を図り、米子市の国土強靱化計画にて設定されているリスクシナリオに対応できる建物とする。これにより災害時は一時避難所としての事業性向上、平時はCO2排出を抑えることが可能となり、環境問題解決に向けて貢献することを目指す。

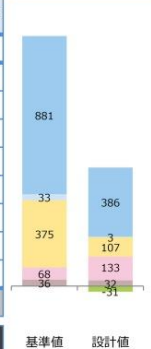


建築物概要			
都道府県	地域区分	新/既	建物用途
鳥取県	6	新築	事務所等
延べ面積	階数(塔屋を除く)	主な構造	竣工年
3,344 m ²	地下 - 地上 5階	S造	2022年
省エネルギー認証取得			
取得予定	CASBEE		
取得済	ISO50001		
その他			
一次エネルギー削減率 (その他含まず)			
創エネ含まず	53 %	創エネ含む	55 %

技術	設備	仕様
建築物外皮断熱技術	外壁	ウレタンフォーム断熱材
	屋根	ウレタンフォーム断熱材
	窓	Low-E複層ガラス (空気層)
	遮蔽	-
	遮熱	屋上・壁面緑化
自然利用	-	
その他	-	
設備省エネルギー技術	機器 (熱源)	ビルマル (EHP) /ビルマル (GHP) /全熱交換器/デシカント空調機
	システム	外気取入れ量制御システム (CO2制御)
	換気	-
	システム	-

技術	設備	仕様
設備省エネルギー技術	機器	LED照明器具
	システム	在室検知制御/明るさ検知制御
	給湯	-
	システム	-
昇降機 (ロープ式)	VVVF制御 (電力回生なし、ギアレス)	
変圧器	第二次トランスフォーマー変圧器	
効率化	再エネ	-
	蓄電池	リチウムイオン蓄電池
	その他	-
	システム	-
BEMS	システム	チューニングなど運用時への展開

省エネルギー性能			
一次エネルギー消費量 (MJ/年m ²)	BPI/BEI		
基準値	設計値		
PAL*	470	359	0.77
空調	880.01	385.24	0.44
換気	32.21	2.38	0.08
照明	374.48	106.67	0.29
給湯	67.47	132.22	1.96
昇降機	35.88	31.90	0.89
コージェネ発電量	0.00	0.00	-
創エネ	0.00	-30.85	-
その他	238.95	238.95	-
合計	1,629	867	0.54
創エネ含まず	1,629	898	0.56



ZEB実現に資するシステムのみ記載しています。

交付決定時の情報を基に作成。実際の登録内容とは異なります。